

島 筆島 ヲ島 ヲカ島 辨天島 丸島 大江村 渡島 横木島 贊島 立崎島 大島 神崎

〔萬葉集雜歌〕明日香清御原御宇天皇代 天淳中原瀛真人天皇

麻績王流於伊勢國伊良虞島之時哀傷作歌

打麻乎麻績王白水郎有哉射等籠荷四間乃珠藻苺麻須

麻績王聞之感傷和歌

空蟬之命乎惜美浪爾所濕伊良虞能島之玉藻苺食

右案日本紀曰天皇四年乙亥夏四月戊朔乙卯三品麻績王有罪流于因幡一子流伊豆島一子

流血鹿島也是云配于伊勢國伊良虞島者若疑後人緣歌辭而誤記乎略中

幸于伊勢國時留京柿本朝臣人麻呂作歌首略

潮左爲二五十等兒乃島邊撈船荷妹乘良六鹿荒島回乎

〔萬葉集略解一〕いらごは參河國也其崎長くさし出て志摩のたぶしの崎と遙に向へり其間に

神島大つゞみ小つゞみなどの島々ありそれらを古いらごの島といひしかされどその島あ

たりは波荒く舟遊びなどすべき所にあらず是は京にておほよそに聞ておしはかりによめ

るなるべし

〔藻鹽草水五〕伊良虞島志摩

〔三國地志九十七〕辨疑

伊良虞島 按此島ハ三州渥美郡ニ屬ス然レドモ今ニ於テ鳥羽侯ノ領邑トナルモノハ蓋シ

上。古。本。國。ノ。隸。邑。ニ。シ。テ。中。古。參。州。ニ。屬。ス。ト。イ。ヘ。ド。モ。貢。服。ノ。便。利。ニ。ヨ。ツ。テ。今。猶。其。舊。ニ。仍。ル。カ、

歌人往々伊勢ノ島トスルハ伊勢海ノササキナルヲ以泛然ト稱スルナルベシ